

東日本 大震災

被災者の救援・救助に全力を

去る11日午後2時46分に発生した東北地方太平洋沖地震は、日本での観測史上最大の巨大地震とされ、地震と津波による被害は未曾有で甚大なものとなっています。さらに、福島原子力発電所事故も重大事態となっています。

痛ましい犠牲者となった方々へ、つつしんで哀悼の意を表するとともに、被災者のみなさんに心からのお見舞いを申し上げます。

被災後、救助・捜索活動が賢明に行われていますが、あまりにも広範囲にわたる被害でいまなお全体像が分からず混乱しています。

このような事態の中で、いま必要なことは、事態の全容把握と人命の救出、被災者への救援が最優先です。日本共産党はこれらの対策を政府に強く求めるとともに、国民的な救援の行動を呼びかけるとともに、現在、救援募金などに取り組んでいます。

山仲市長への申し入れ（3月14日・要旨）

3月11日午後2時46分、三陸沖を震源とする大地震が発生しました。地震の規模は観測史上過去最大とされており未曾有の被害となっています。被災された方々に心からのお見舞いを申し上げますとともに、亡くなられた方々へのご冥福をお祈りします。

被害の現状は、地震で発生した大津波で東北地方の諸県を中心に壊滅的被害を受け、多大な人命が奪われています。さらに、地震発生後、いまなお被害の全体像を把握することが出来ず困難を極めています。一方、東京電力福島原子力発電所では、原子炉燃料棒溶融・水素爆発による建屋破壊、3号機も燃料棒溶融でかつてない危機的状況となっています。

日本がこれまで経験したことない危機的事態の中で、政府のみならず、地方自治体と住民一体で対応することが求められています。いま必要なことは人命最優先で、被災者の救出・救援することが必要です。よって、以下の事を申し入れます。

1. 野洲市として出来る救援対策を直ちに具体化されること。
2. 市民のみなさんから救援の思いが広がっている。この思いが生かされるよう野洲市として受け入れ態勢を取られ広報されること。
3. 今回の地震は、想定を超えた規模の地震とされている。また、原子力発電所の事故は『安全神話』が崩壊するなど、これまでの『防災計画』の域を超えるものと言われている。よって、野洲市防災計画について改めて検証されること。

市長に緊急対応を申し入れ

日本共産党野洲市議団は14日、山仲市長宛てに、東日本大震災について緊急の対策を求める申し入れを行いました。申し入れには市民部長が対応しました。
申し入れでは、東日本大震災によって壊滅的打撃を受けた地域と住民の方への野洲市として物心両面から可能なあらゆる支援を行うこと。また、多くの市民のみなさんの「何とかしたい」という思いが生かせるように情報提供と受け入れ態勢を取る。さらに、想定を超える地震の中で、原発事故の対応も含め、野洲市防災計画の検証（見直し）を求めたものです。



野洲駅にて(14日)

東日本大震災の救援募金を受け付けています

日本共産党は駅頭での救援募金活動や、お近くの黨員、地方議員、党事務所で受け付けています。ご協力をお願い申し上げます。

お振込みの場合の送付先は、【郵便振替口座】00170-7-98422
【口座名義】日本共産党中央委員会(振替用紙通信欄に「地震救援募金」と明記してください)

やす民報

日本共産党野洲市委員会
2010年3月20日 215

暮らしのご相談を
お寄せください

小菅六雄	比江668-3	(電話・FAX)589-4971
野並享子	北野1-7-10	(電話・FAX)587-0985
太田健一	近江富士2-11-25	(電話・FAX)588-3169

市議団ホームページ
<http://www.yasusigi.net/>